

この公表資料は当店ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス <http://www3.boj.or.jp/kagoshima/>



2019年2月1日
日本銀行鹿児島支店

鹿児島県金融経済概況

【概要】

鹿児島県の景気は、緩やかな回復を続けている。

すなわち、最終需要面をみると、個人消費は、底堅く推移している。観光は、堅調な動きとなっている。住宅投資は、貸家を中心に弱含んで推移している。公共投資は、高水準ながらも減少している。

生産は、弱含んでいる。

企業部門の動向を短観（12月＜鹿児島・宮崎両県集計分＞）で見ると、景況感は、良好な状態を維持している。設備投資は、高水準で推移している。また、人手不足感は、強い状況が続いている。

こうした企業動向を反映して、雇用・所得環境は改善している。

【各論】

1. 個人消費

百貨店・スーパー販売額と家電販売額は、前年を下回って推移している。乗用車新車登録台数（含む軽自動車）は、前年を下回った。

2. 観光

主要ホテル・旅館宿泊客数、主要観光施設入場者数とも、前年を上回って推移している。

3. 公共投資

公共工事請負金額は、前年を下回った。

4. 住宅投資

新設住宅着工戸数は、持家と貸家を中心に前年を上回った。

5. 生産

鉱工業生産指数（季節調整済）は、はん用・生産用機械、食料品を中心に前月を下回った。

6. 雇用・所得環境

有効求人倍率（季節調整済）は、上昇基調をたどっている。

現金給与総額は、前年を下回って推移している。

常用労働者数は、前年を上回って推移している。

7. 物価

消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、前年を上回って推移している。

8. 金融面

預金、貸出金とも、前年を上回って推移している。

貸出約定平均金利は、緩やかな低下が続いている。

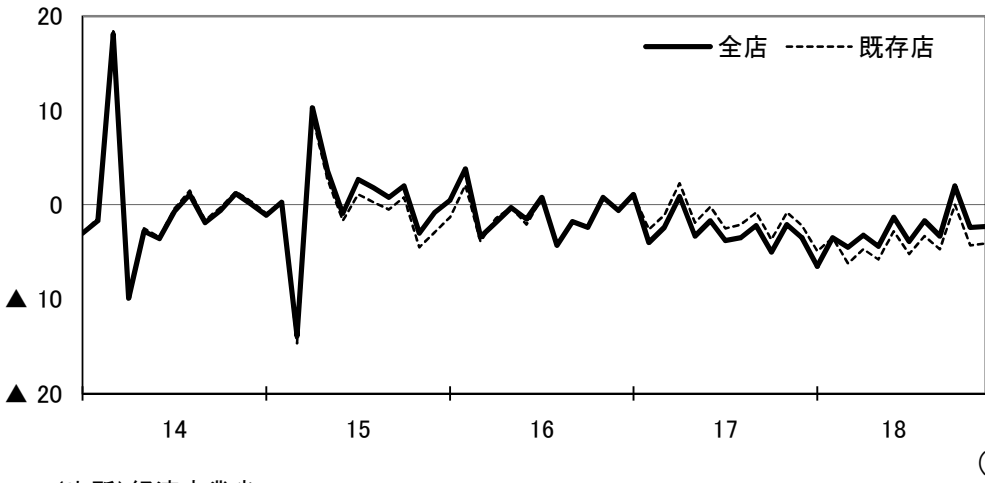
企業倒産件数は、低水準で推移している。

以 上

鹿児島県主要金融経済指標

pは速報値
rは修正値

(図表1)百貨店・スーパー販売額<前年比、%>

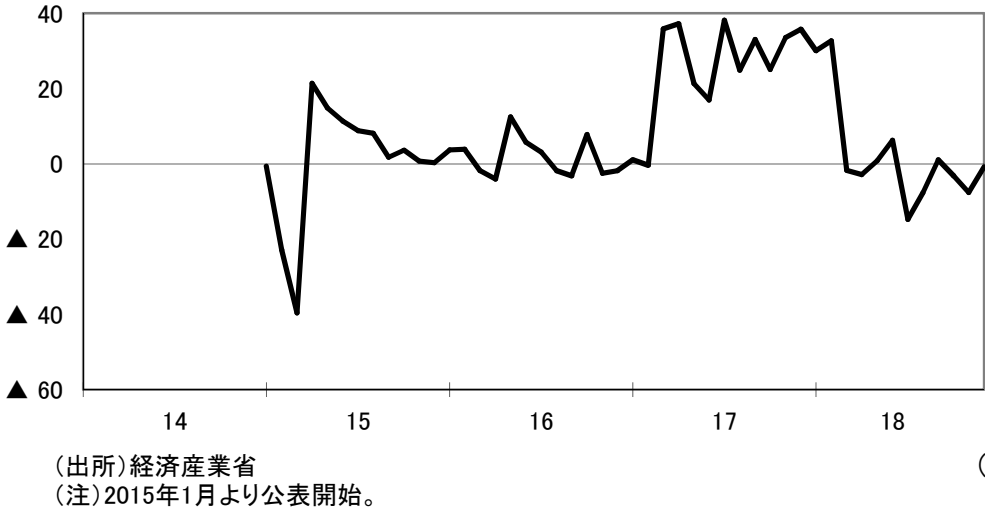


全店	
11月	▲2.4
12月 p	▲2.3

既存店	
11月	▲4.3
12月 p	▲4.1

(出所)経済産業省

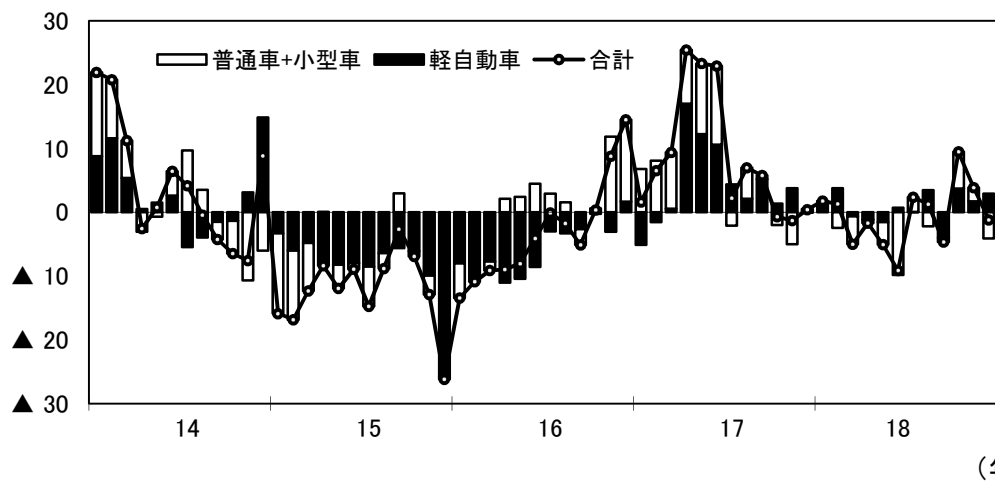
(図表2)家電大型専門店販売額<前年比、%>



11月	▲7.6
12月 p	▲0.8

(出所)経済産業省
(注)2015年1月より公表開始。

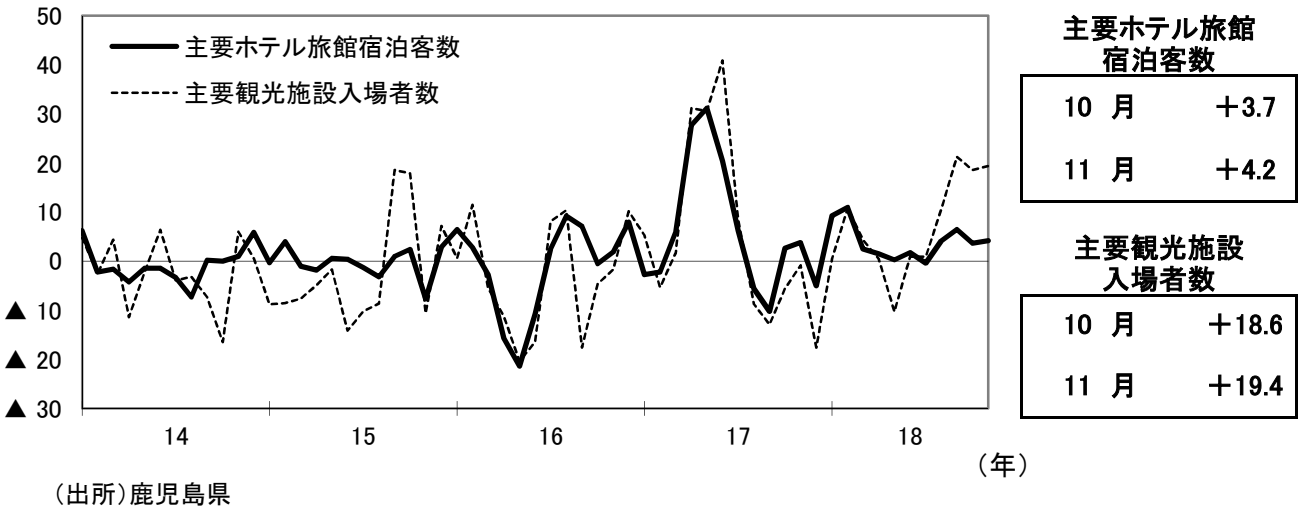
(図表3)乗用車新車登録台数<前年比、寄与度、%>



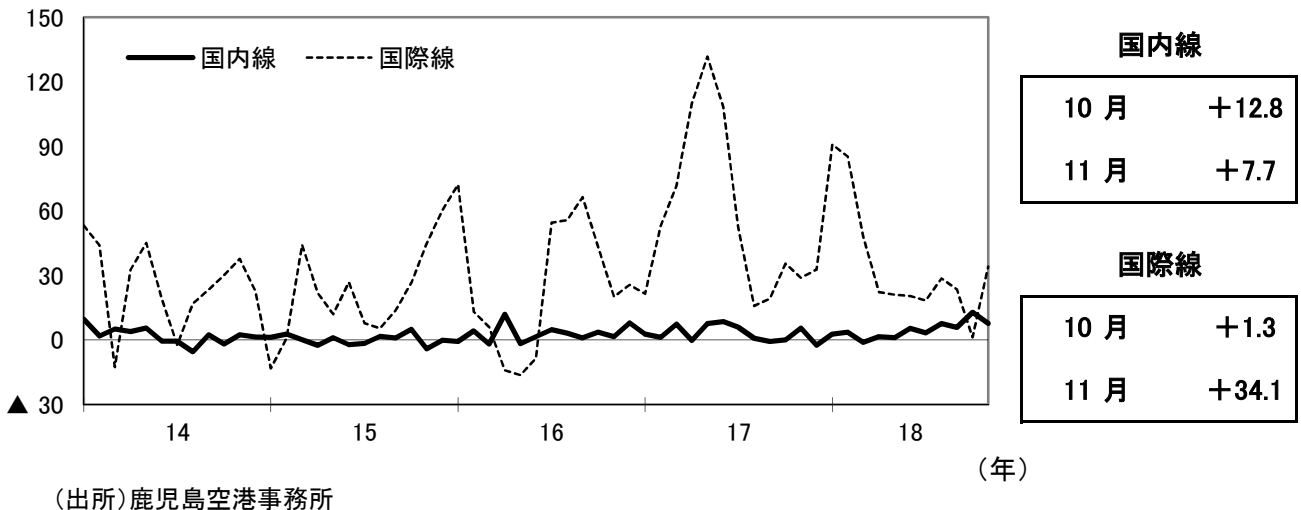
11月	+3.9
12月	▲1.2

(出所)鹿児島運輸支局、一般社団法人全国軽自動車協会連合会

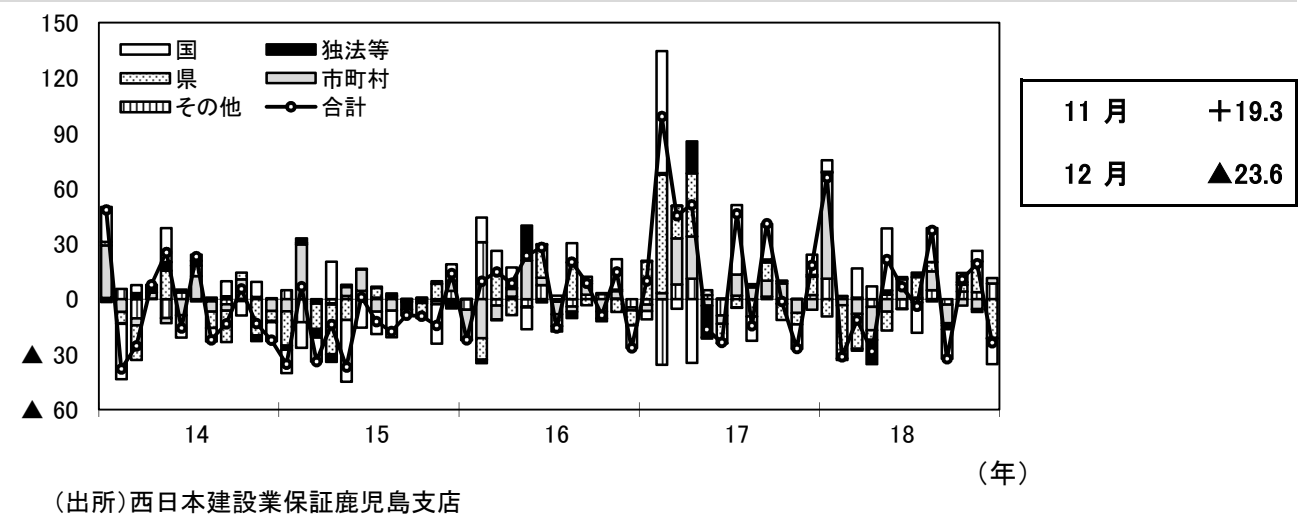
(図表4) 主要ホテル旅館宿泊客数・主要観光施設入場者数<前年比、%>



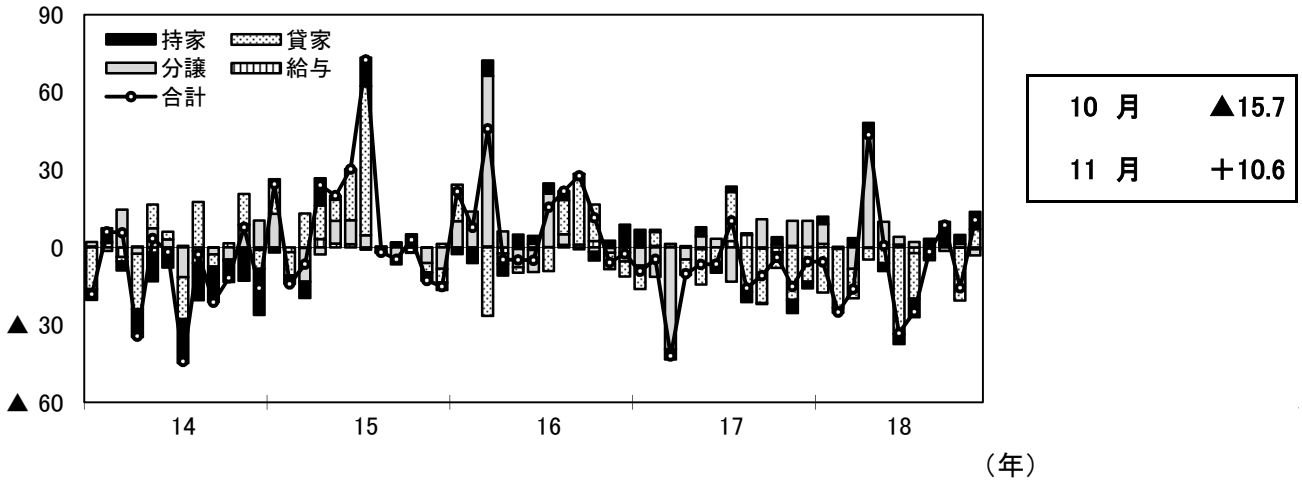
(図表5) 鹿児島空港乗降客数<前年比、%>



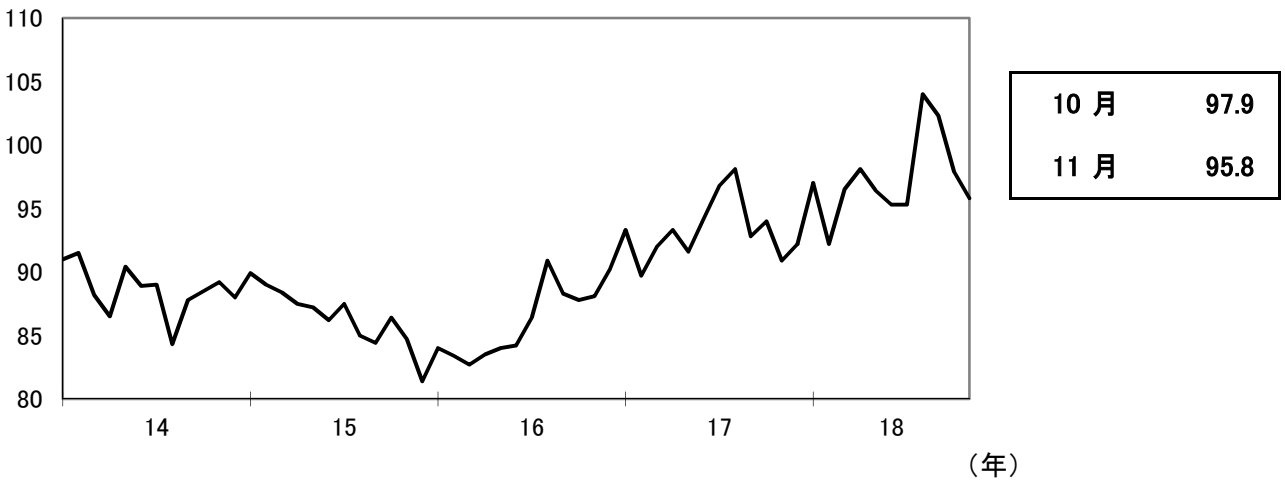
(図表6) 公共工事請負金額<前年比、寄与度、%>



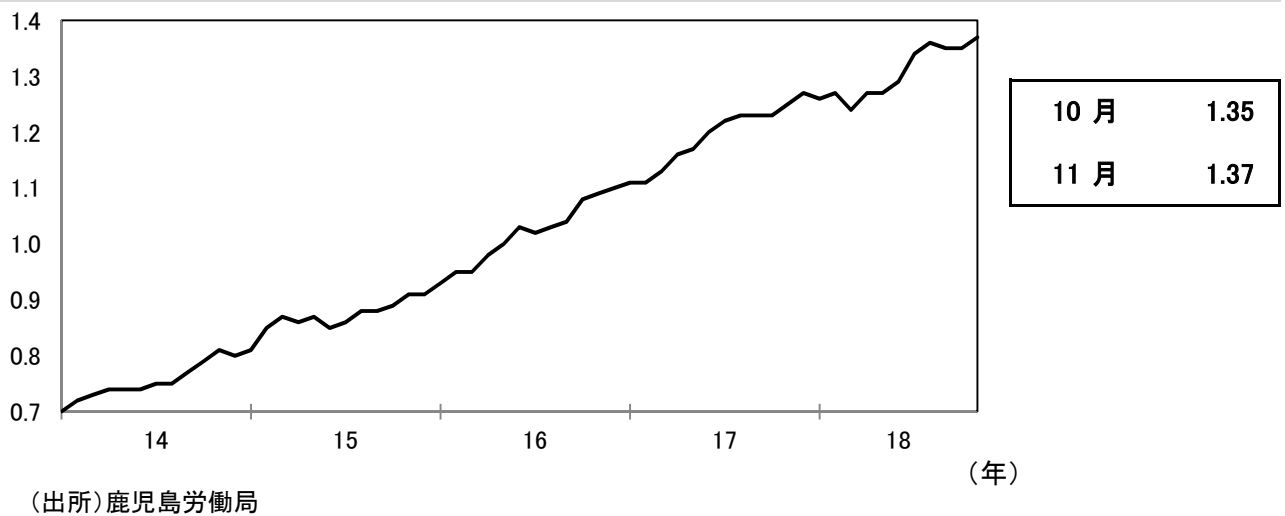
(図表7) 新設住宅着工戸数<前年比、寄与度、%>



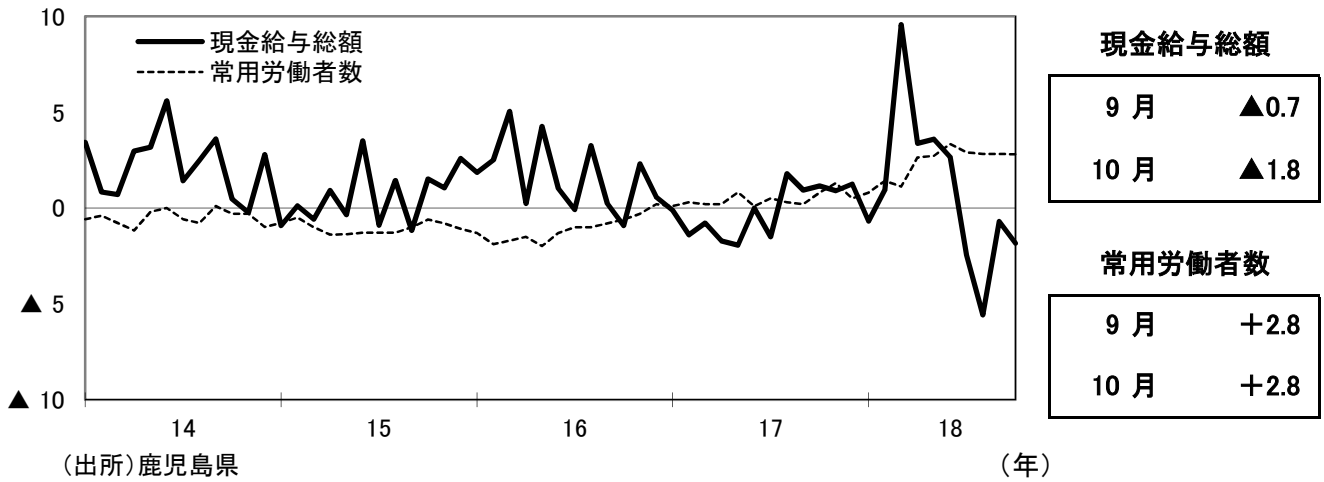
(図表8) 鉱工業生産指数<季調済、10年=100>



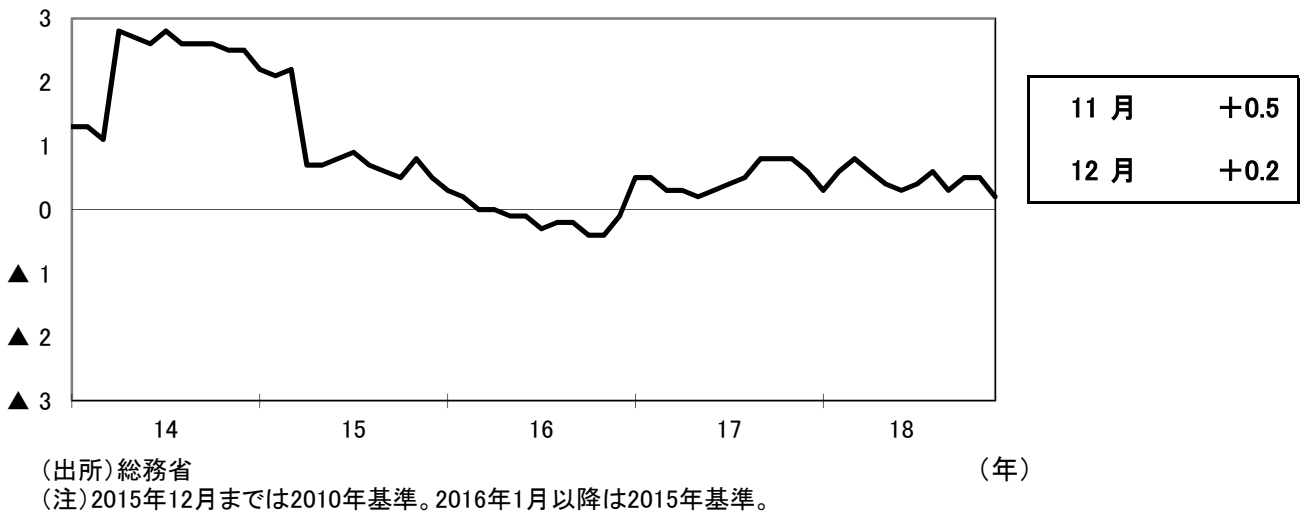
(図表9) 有効求人倍率<季調済、倍>



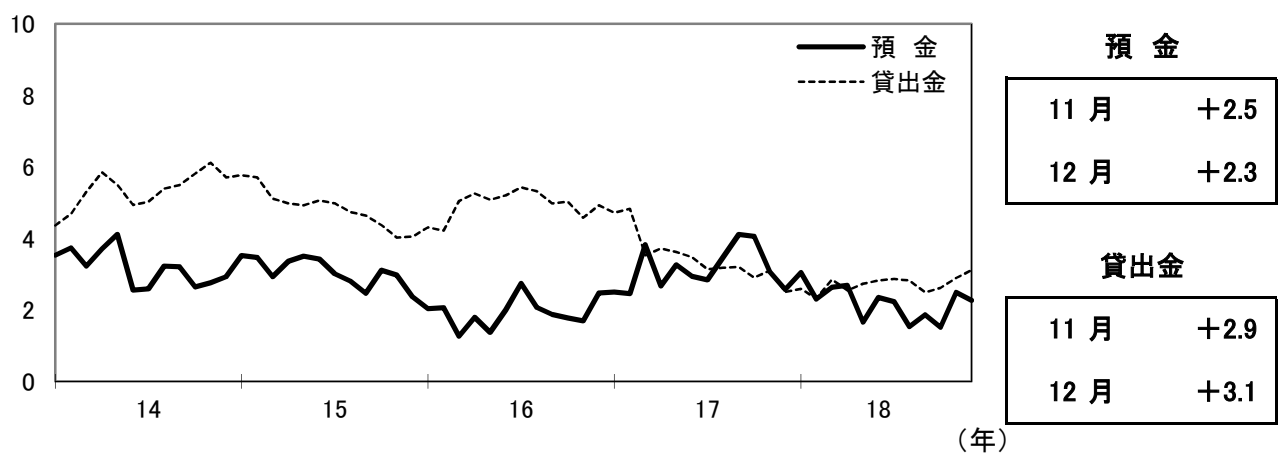
(図表10) 毎月勤労統計<事業所規模5人以上、前年比、%>



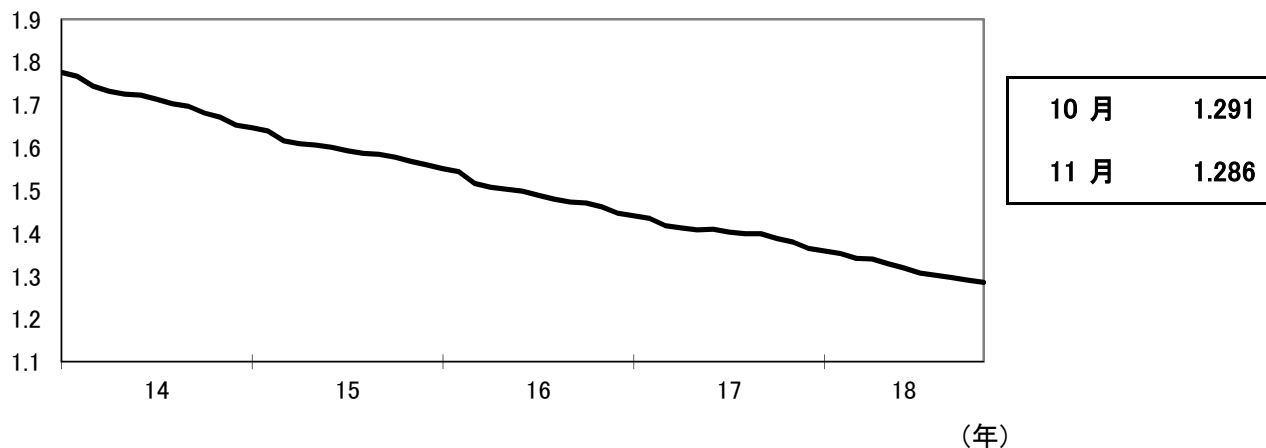
(図表11) 消費者物価指数<鹿児島市、生鮮食品を除く総合、前年比、%>



(図表12) 預金・貸出金<末残、前年比、%>



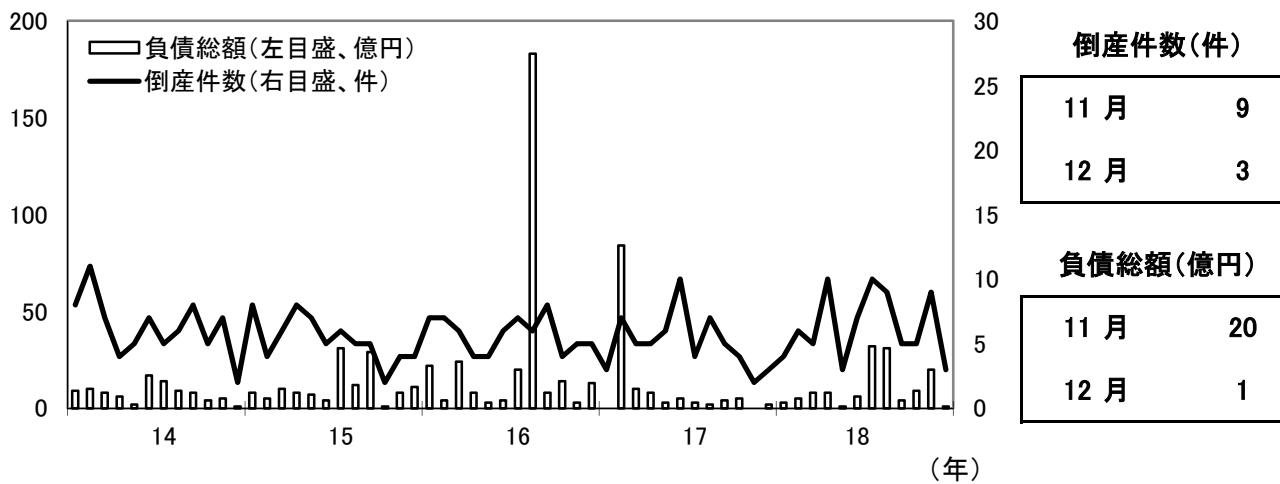
(図表13) 貸出約定平均金利(ストック総合、%)



(出所) 日本銀行鹿児島支店

(注) 月末時点の値を記載。集計対象は、鹿児島県の地元金融機関(日本銀行鹿児島支店の当座預金取引先5行庫、県外店舗を含む)。

(図表14) 企業倒産件数・負債総額<件、億円>



(出所) 東京商工リサーチ鹿児島支店